

紙粘土と芯材を使ってチリンチリンと涼しい音のする風鈴をつくってみましょう

# ふうりんをつくらう

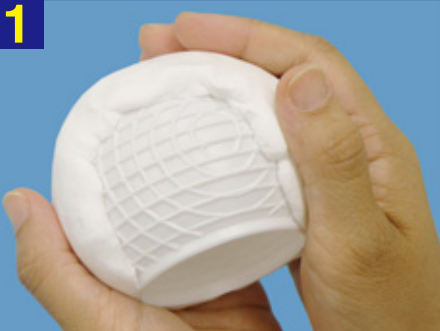
## 作品づくりのオススメポイント

- 季節感のある風鈴の作品が芯材を使って簡単にできます。
- 紙粘土で製作する部分が少ないので小さいお子様でも短い時間でつくれる事ができます。
- 完成した作品を児童が持って帰って自宅などで使う事ができます。

## 用意するもの



- ふうりん紙ねんどセット
- 粘土板
- ヘラ
- 水彩絵の具
- 油性マーカー



1 粘土で芯材を包むように貼付けます。

**POINT** 底の部分と上のモールが通る穴は開けておきます。



2 耳と口もとの部分をしっかりとつけます。

**POINT** 粘土は押し付けるだけでなく、回りをしっかりとなじませます。



3 ヘラなどを使用して細かい部分を仕上げます。

**POINT** おはじきやビーズなどを埋め込んで仕上げても素敵な作品になります。



4 粘土が乾燥後、絵の具で色を塗ります。

**POINT** 仕上げにニスを塗るとツヤが出て絵の具がはがれず作品が長持ちします。



5 モールを金属風鈴に通し、風鈴から5cmの所を結びます。

**POINT** モールを風鈴から5cmの所を2~3回結び団子にしておきます。



6 短冊に油性マーカーで絵などをかきます。

**POINT** 短冊にシールを貼ったりしてオリジナルの短冊を製作しましょう。



7 糸の長さを調節しながら短冊を糸に結びます。

**POINT** 紙粘土は水に弱いので屋外で使用する場合雨のかからない所をお選びください。



8 モールを芯材の作品の穴に通し完成です。

**POINT** 穴がふさがっている場合はつまようじなどで穴をあけます。

